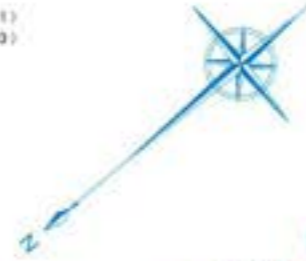


土地利用計画平面図

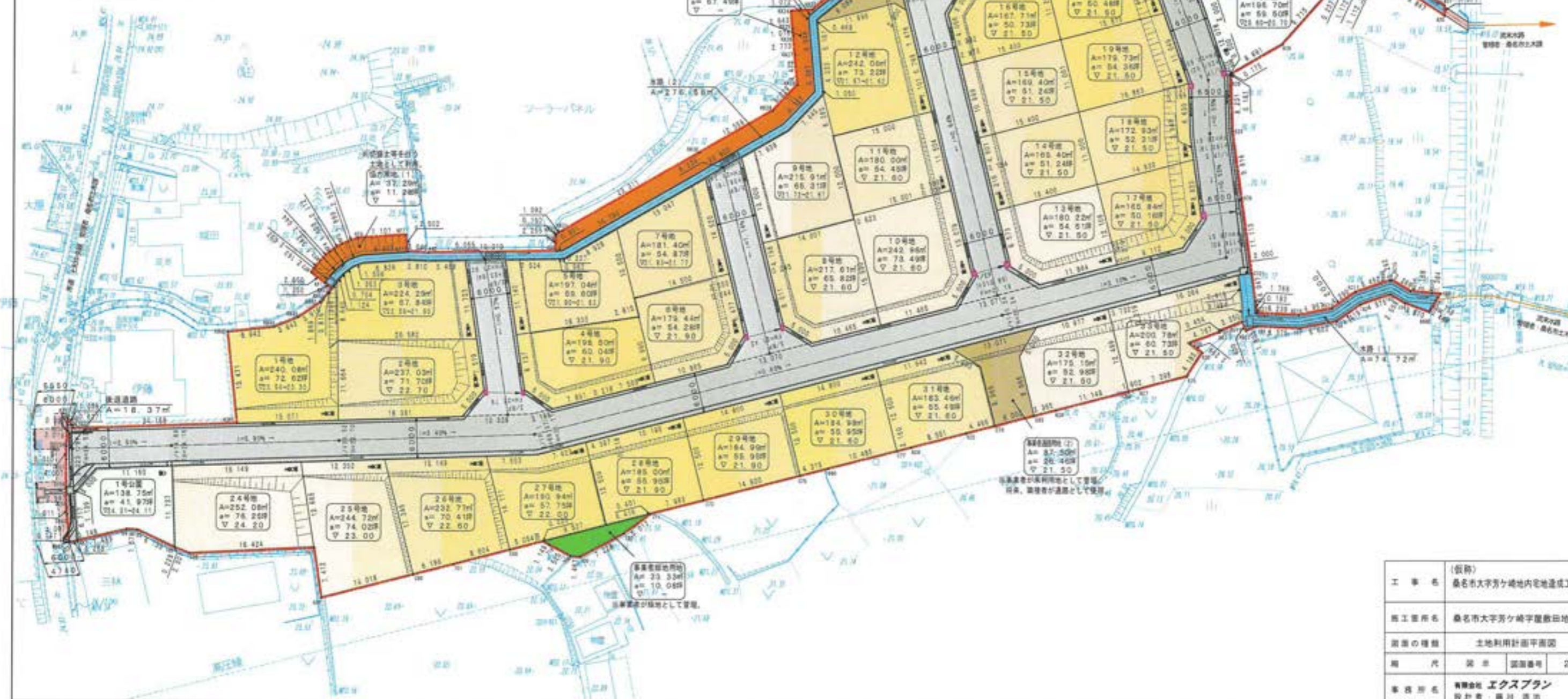
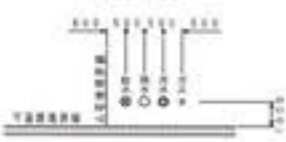
S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)



凡 例	
事業用地	住宅用地 (専用住宅)
	道路用地
	緑地用地
	看板用地
	ガス用地
協力用地	協力用地
	道路用地
公共施設用地	公園用地
	水路用地
	ごみ集積場
	浸透例
区域外加工	
流束排水	
開発区域	

土地利用計画表			
	面積 (㎡)	比率 (%)	備 考
住宅用地 (専用住宅)	6479.53	65.23	33区画
事業者道路用地	158.05	1.59	
事業者緑地用地	33.33	0.34	
事業者看板用地	1.07	0.01	
ガス用地	17.24	0.17	
協力用地	260.41	2.62	
1号道路	1934.95		
2号道路	151.56		
3号道路	181.43		
後送道路	18.37		
公共小計	2286.31	23.01	
1号公園	138.75		
2号公園	196.70		
公共小計	335.45	3.38	
水路 (1)	74.72		
水路 (2)	276.56		
小計	351.28	3.54	
ごみ集積場	11.12	0.11	
計	2984.16	30.04	
開発区域	9933.79	100.00	

取付部凡例



工 事 名	(仮称) 桑名市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工場所名	桑名市大字芳ヶ崎字屋敷田内
図面の種類	土地利用計画平面図
期 代	第 2 次 図面番号 2
事務所名	有限会社 エクスプラン 設計者 藤川 浩治

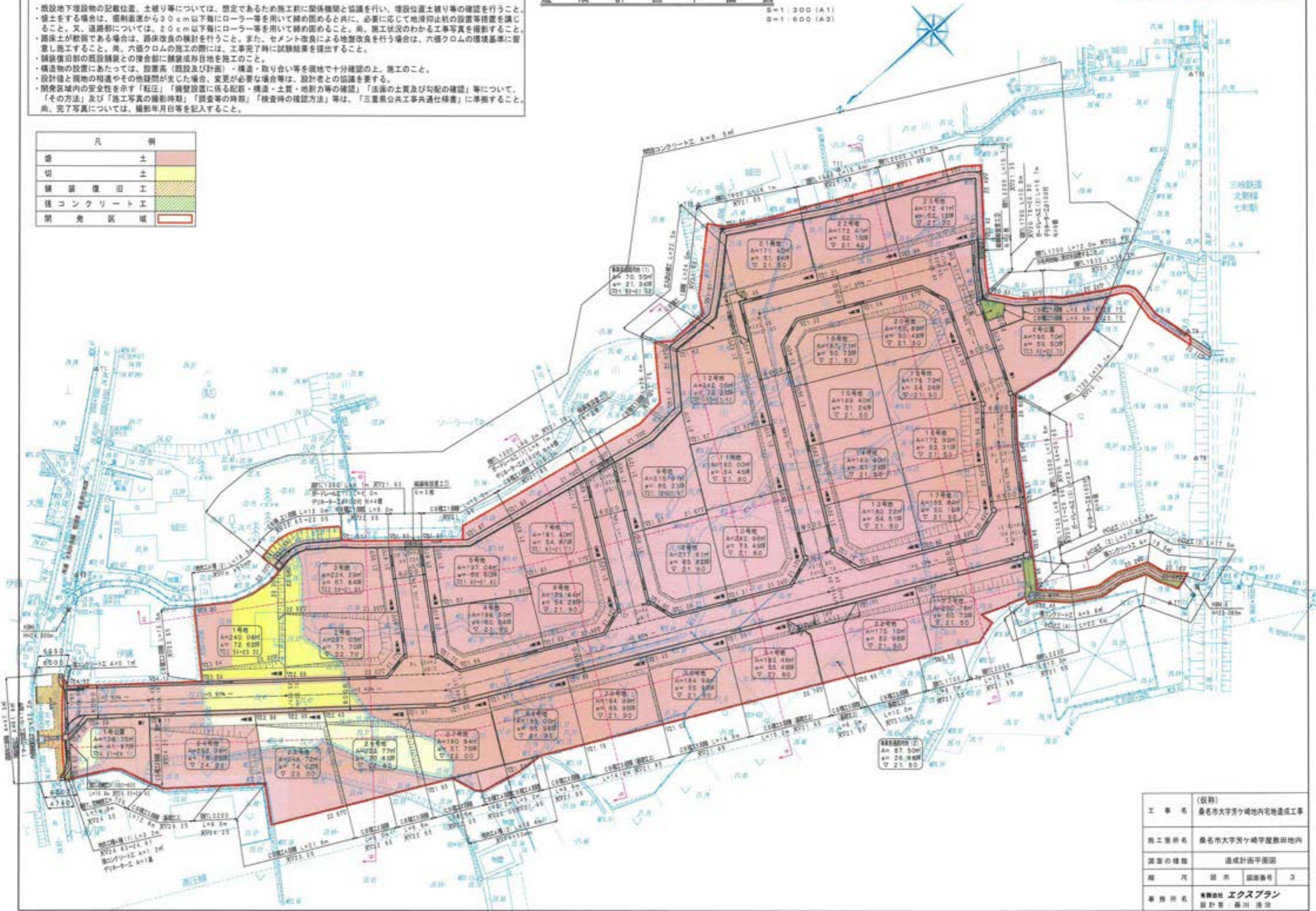
造成計画平面図

S=1:300 (A1)
S=1:600 (A2)

■ 注 記

- ・既設地下埋設物の記載位置、土被り等については、想定であるため施工前に関係機関と協議を行い、埋設位置土被り等の確認を行うこと。
- ・盛土をする場合は、盛削面底から30cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、必要に応じて地層止水杭の設置等措置を講じること。又、道路部については、20cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、施工状況のわかる工事写真を撮影すること。
- ・路床土が軟弱である場合は、面床改良の検討を行うこと。また、セメント改良による地盤改良を行う場合は、六面クロムの環境基準に留意し施工すること。尚、六面クロムの施工の際には、工事完了時に試験結果を提出すること。
- ・舗装復旧部の既設舗装との接合部に舗装成形目地を施工すること。
- ・構造物の設置にあたっては、設置高（既設及び計画）・構造・取り合い等を現地で十分確認の上、施工のこと。
- ・設計値と現地の相違やその他疑問が生じた場合、変更が必要な場合等は、設計者との協議を要する。
- ・開発区域内の安全性を示す「転圧」「擁壁設置に係る配筋・構造・土質・地耐力等の確認」「法面の土質及び勾配の確認」等について、「その方法」及び「施工写真の撮影時期」「調査等の時期」「検査時の確認方法」等は、「三重県公共工事共通仕様書」に準拠すること。尚、完了写真については、撮影年月日等を記入すること。

凡 例	
盛	土
切	土
舗 装 復 旧 工	
後 コ ン ク リ ー ト 工	
開 発 区 域	

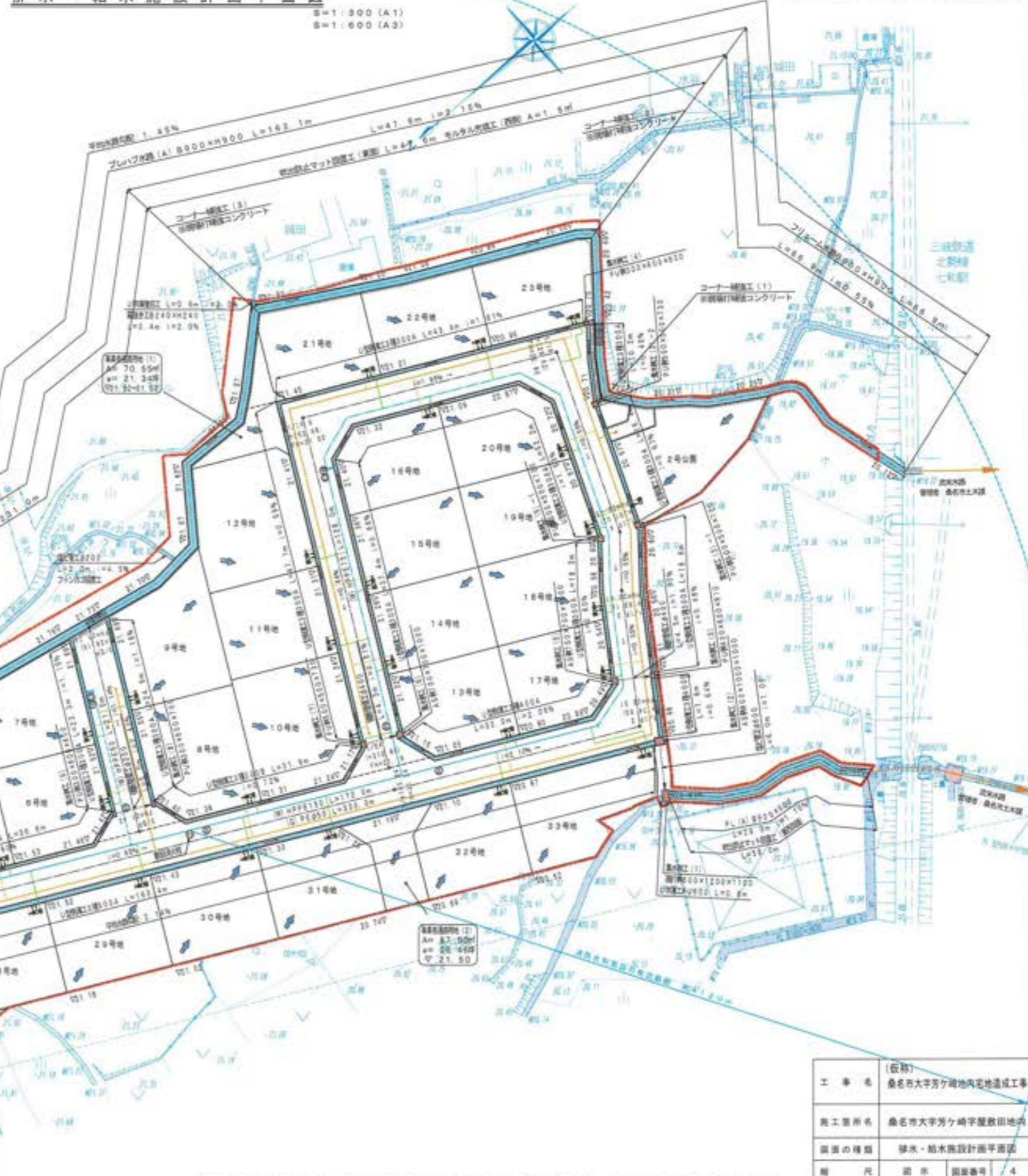
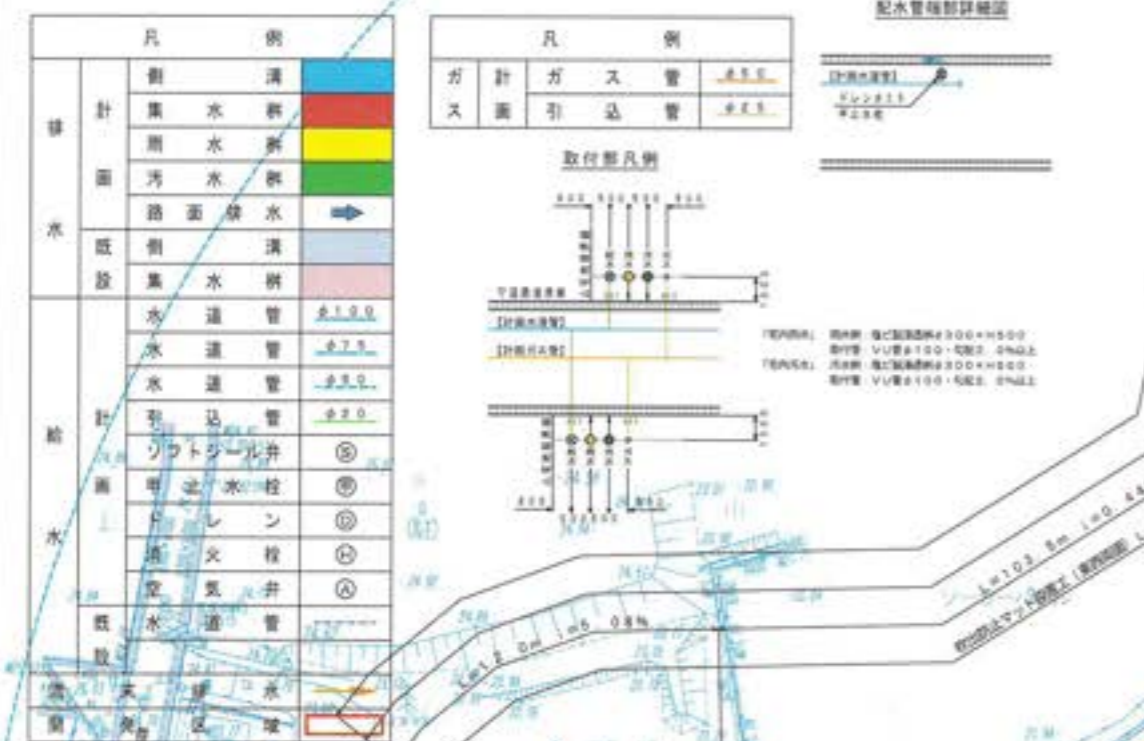


工 事 名	(仮称) 桑名市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工場所名	桑名市大字芳ヶ崎字屋敷田内
図面の種類	造成計画平面図
縮 尺	図示 図面番号 3
事務所名	有限会社 エクスプラン 設計者：藤川 浩治

排水・給水施設設計面平面図

S=1:300 (A1)
S=1:600 (A3)

- 注 記
- ・既設地下埋設物の記載位置、土被り等については、想定であるため施工前に関係機関と協議を行い、埋設物土被り等の確認を行うこと。
 - ・排水施設の施工にあたっては、設置高（既設及び計画の高さ・天端高）・流下方向・勾配・断面・取り合い等を現地ですべて確認の上、施工のこと。
 - ・設計者と現地の相違やその他疑問が生じた場合、変更が必要な場合は、設計者との協議を要する。
 - ・上水道施設については、関係部署（水道課）と協議を行うこと。
 - ・上水道施工者については、桑名市指定業者とし、桑名市が発注する水道本管工事の施工実績を有するものであること。
 - ・開発の完了検査までに、水道事業管理者の竣工検査を完了すること。
 - ・上水道工事の施工にあたっては、給水承認許可を得てから実施すること。また、工事完了後、所定の手続きを行うこと。尚、NTT施設が近接している為、施工時に施設管理者の立会を要する。
 - ・上水道施設の土被りは車道歩道ともに最低70cm以上確保すること。
 - ・各戸給水引込管は口径φ20とし、管種は水道用ポリエチレン1種2層管・JIS K6762とする。
 - ・ドレン管は口径φ25とし、甲止水栓を設置して社水口の末端にエルボを設置し側溝下流側へ向けること。
 - ・官民境界から1m以内に甲止水栓（第一止水栓）を設置すること。
 - ・消火栓設置後は、消火栓の周りをオレンジ色でマークを施すこと。



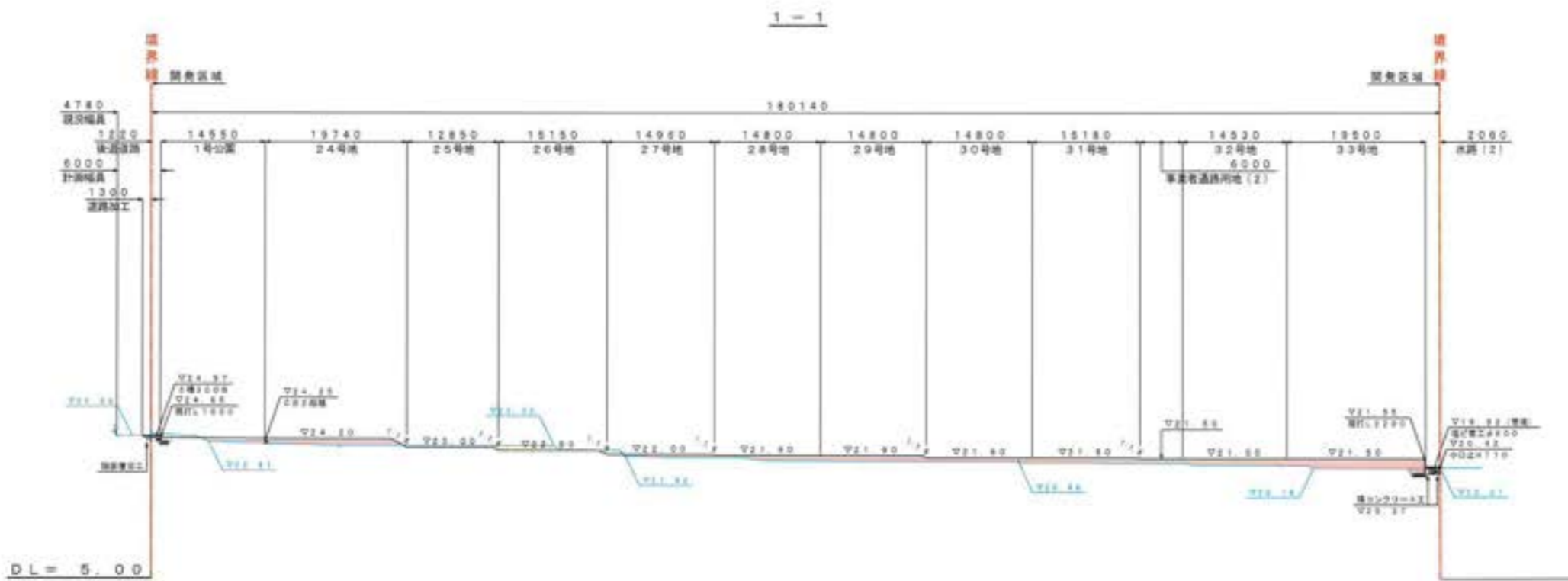
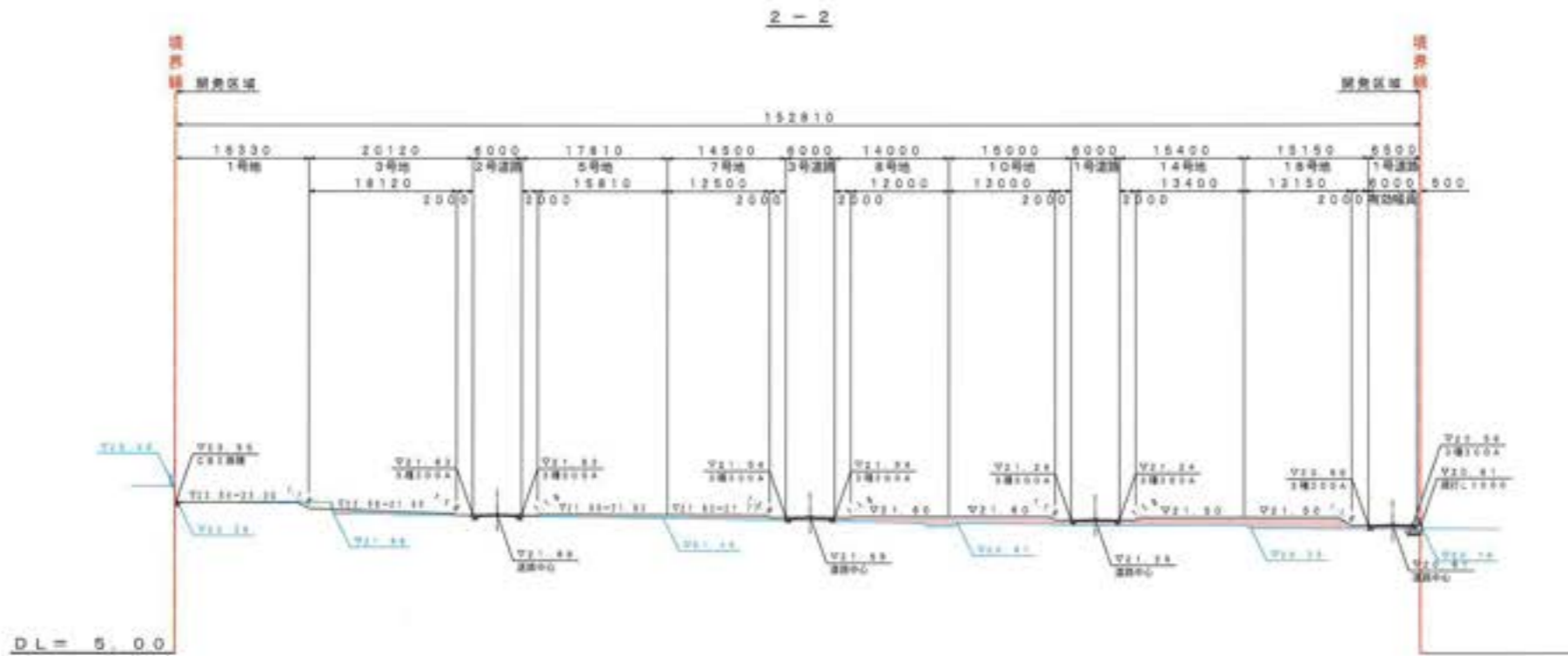
汲汚水排水については、合併処理浄化槽とする。尚、浄化槽排水は、雨水浸透槽に接続しないこと。

工 事 名	(仮称) 桑名市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工箇所名	桑名市大字芳ヶ崎字屋敷田地区
図面の種類	排水・給水施設設計面平面図
用 尺	用 尺 4
事務所名	株式会社 エクスプラン 設計者 藤川 浩治

1. 盛土をする場合は、掘削面底から30cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、必要に応じて地滑り止杭の設置等措置を講ずること。又、道路部については、20cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、施工状況のわかる工事写真を撮影すること。

造成計画断面図(1)

S=1:400(A1)
S=1:800(A2)



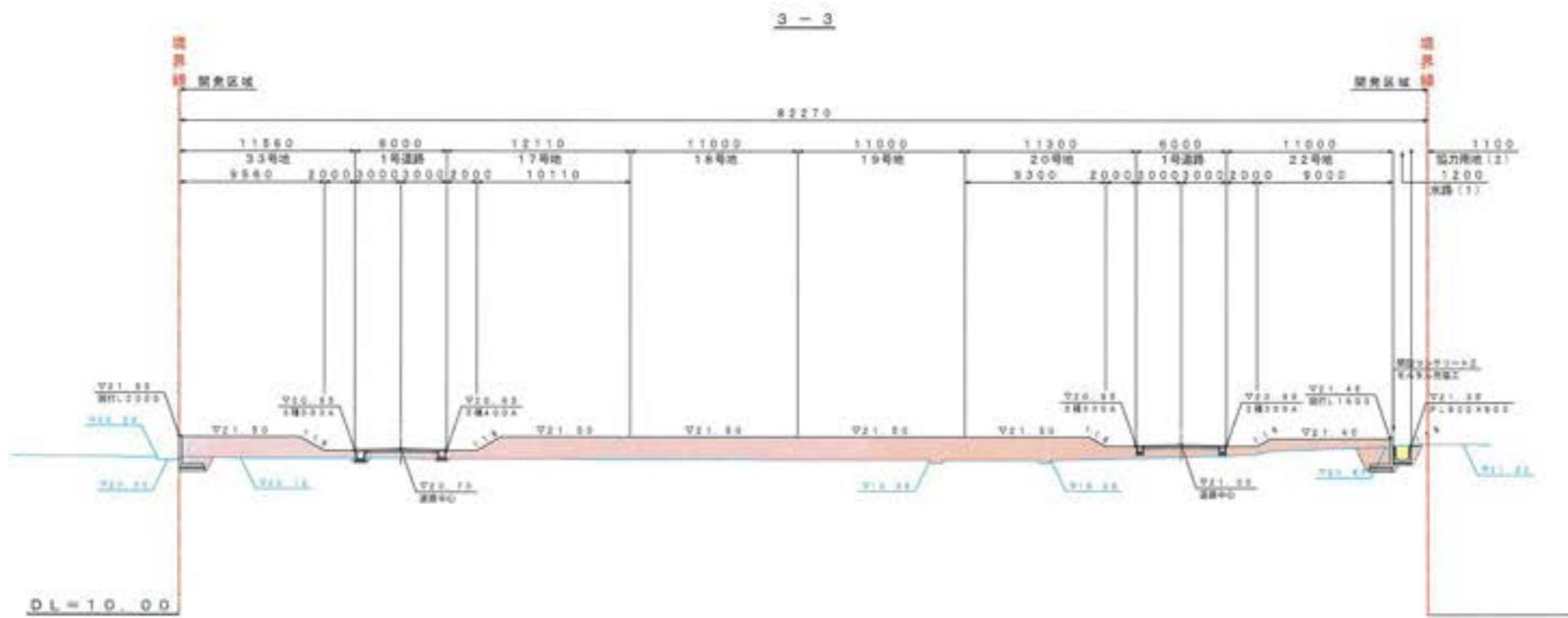
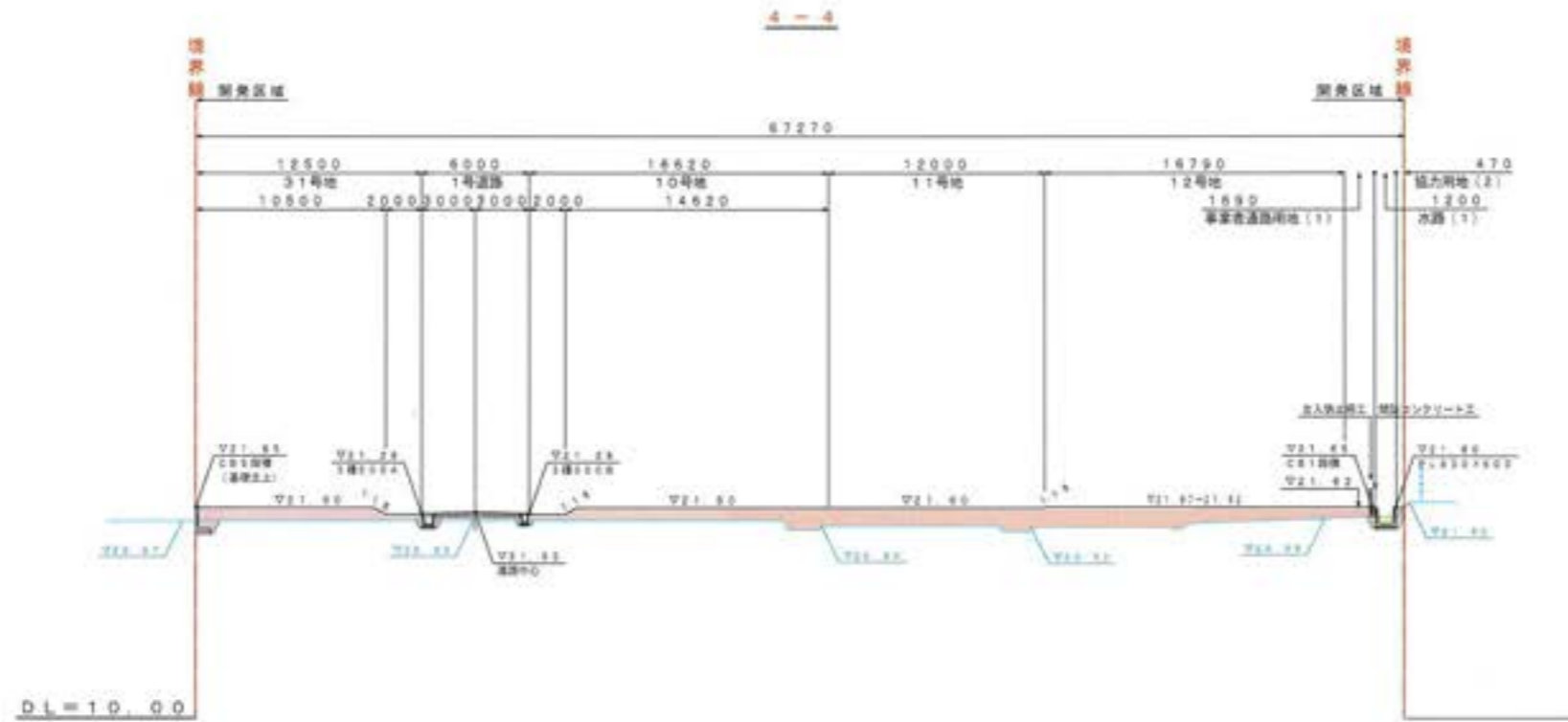
凡 例	
盛 土	○
切 土	○
開 発 区 域	—

工 事 名	(仮称) 桑名市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工箇所名	桑名市大字芳ヶ崎字屋敷田内
図面の種類	造成計画断面図(1)
期 代	図 示 図面番号 5
事 務 所 名	有限会社 エクスプラン 設計者 藤川 浩治

1. 盛土をする場合は、掘削面底から30cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、必要に応じて地溝脚止杭の設置等措置を講じること。又、道路部については、20cm以下毎にローラー等を用いて締め固めること。
尚、施工状況のわかる工事写真を撮影すること。

造成計画断面図(2)

S=1:200 (A1)
S=1:400 (A3)



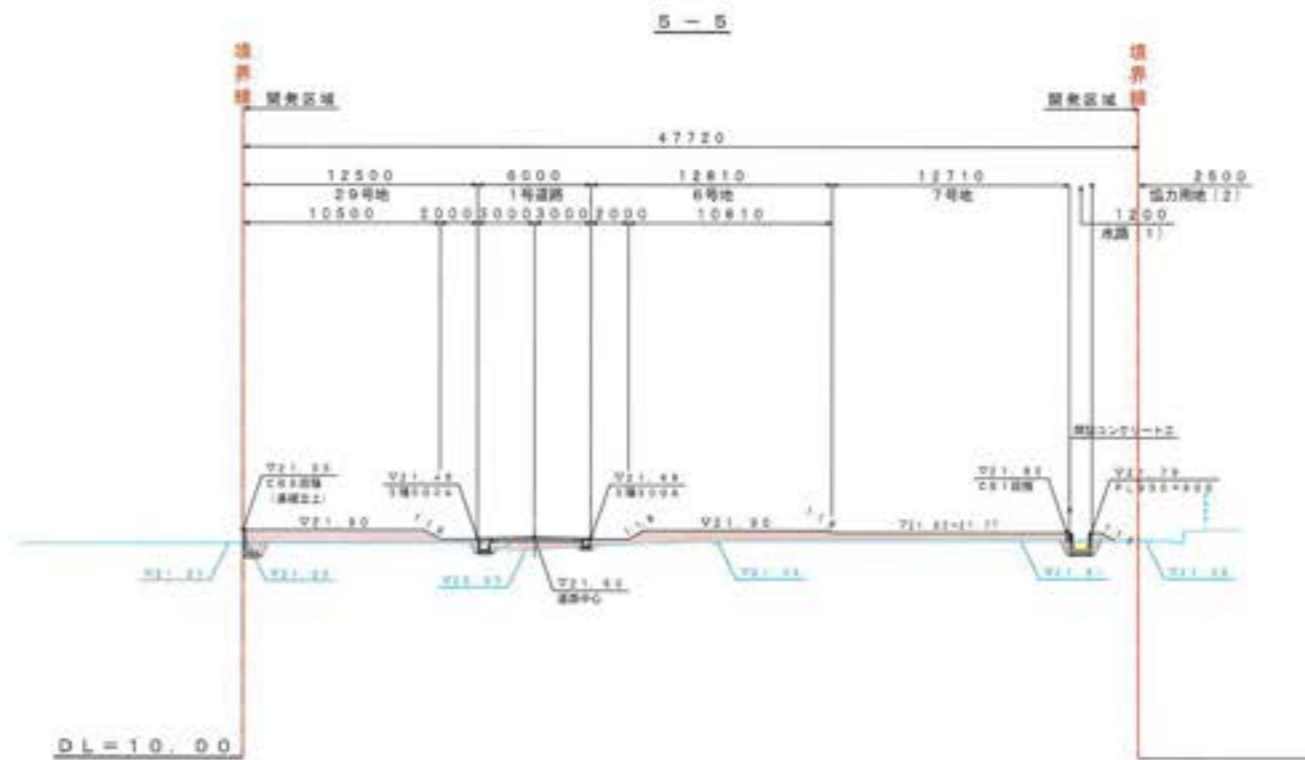
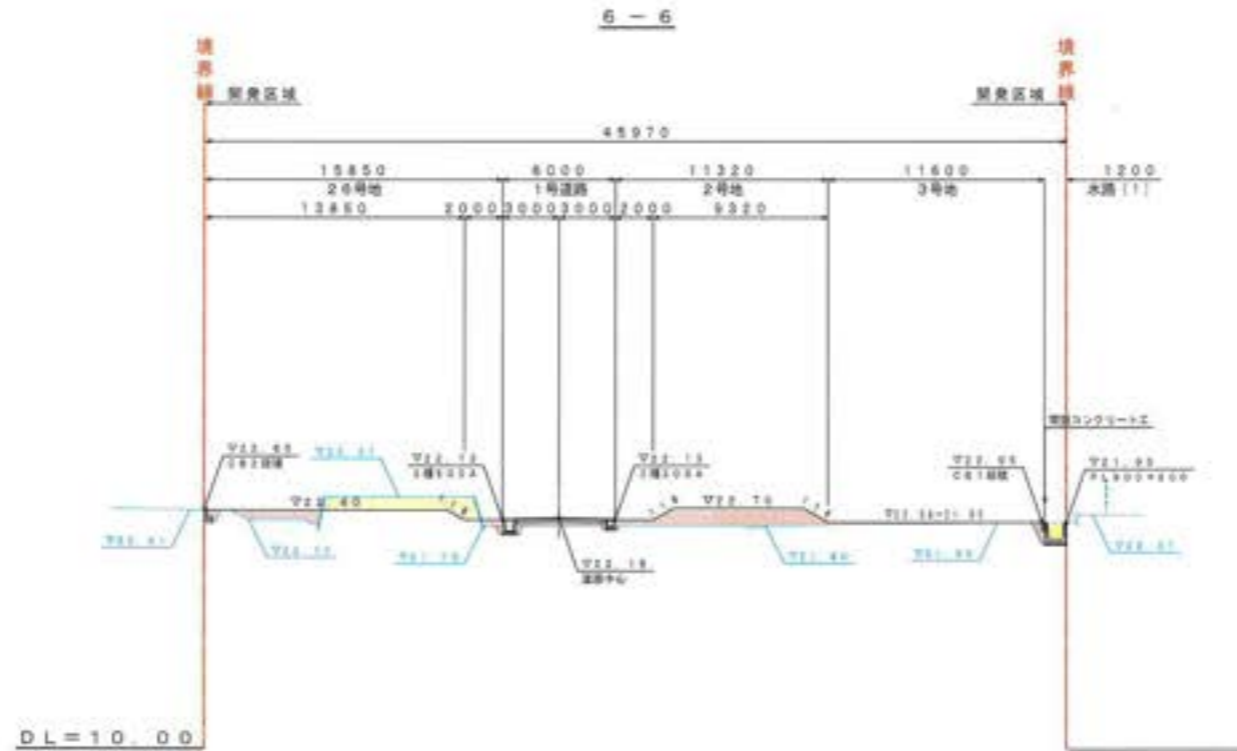
凡 例	
盛 土	
切 土	
開 発 区 域	

工 事 名	(仮称) 名古屋市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工場所名	名古屋市大字芳ヶ崎字屋敷田地内
図書の種別	造成計画断面図(2)
種 代	図 示 図面番号 6
事務所名	有限会社 エクスプラン 設計者 藤川 浩治

1. 盛土をする場合は、掘削面底から30cm以下毎にローラー等を用いて締め固めると共に、必要に応じて地溝壁止杭の設置等措置を講じること。又、道路部については、20cm以下毎にローラー等を用いて締め固めること。
 尚、施工状況のわかる工事写真を撮影すること。

造成計画断面図 (3)

S=1:200 (A1)
 S=1:400 (A3)



凡 例	
盛 土	
切 土	
開 免 区 域	

工 事 名	(仮称) 泉名市大字芳ヶ崎地内宅地造成工事
施工箇所名	泉名市大字芳ヶ崎字屋敷田地内
図面の種類	造成計画断面図 (3)
縮 尺	図 示 図面番号 ?
事務所名	有限会社 エクスプラン 設計者 藤川 浩治